

ひと ひと

女と男の情報紙

笑がお



8年ぶりの歯医者

歯医者嫌いとは昔からだったが、8年前に通った歯医者は予約制なのに時間に行っても待つこと1時間は当たり前のうえ、歯科衛生士が不愉快だった。歯の手入れの悪い私を罪人あつかいだった。そんなこんなで、本来少し歯の具合が悪いなどと思って、だまし、だまされた。

でも、さすがに4本つないだブリッジが外れてしまったはどうしようもない。自宅から近く、すいてそうな歯医者を探して行った。

私の歯を見るなり、その歯医者は大きなため息をついた。「あと数年早くきてくれたらもっと歯を救えたのにな〜」という。そして外れたブリッジを応急につけるなり、別のブリッジをはずしてしまった。そのうえぐらぐらしていた中の1本を抜いてしまった。「もうこれは使えませんが」との説明。

え〜。歯医者って治療方針を最初に説明してから患者と了解の下にいろいろ治療にはいるんじゃないの？という私の疑問はいっさいおかまいなしに抜いた歯の隣の歯根の治療をはじめ、つめものをはずしはじめた。こんなはずではなかったと思うまもなく、つぎつぎと口の中では、ギーガーという不愉快な音響とともに工事が行われ始めた。

最後に「う〜ん。完治までに1年かかるかな」、「なんでこんなにほっといたの」と質問がくる。「歯医者大嫌いなんです」と私。「いや私も歯医者はずらいですよ」とその歯医者は答える。「もう全部入れ歯でもいいと思って」とやけっぱちな私。「いや〜。入れ歯は悲しいですよ」と歯医者。

それから2ヶ月、まだ歯医者通いは続いている。先日ようやく一箇所の歯が修復された。2時間ほぼ口を開けっ放し、あごも体も疲れきっていた。

でも、「今日で、ここは終わりですよ」といわれた瞬間、少しほっとしてため息とともに笑顔がもれた。その一瞬を歯医者は見逃さなかった。「ようやく笑顔がでましたね。よかった。」という。

えっ？そうか私はこの2ヶ月歯医者で一回も笑わなかったことに気づいた。いつも不満と不安にさいなまされて、仏頂面。一応「ありがとうございました」とはいうもののそそくさと歯医者をあとにする。改めて歯医者顔を見ると、マスクを取って満面笑顔がこぼれていた。心にゆとりのなかった自分をものすごく反省した。

笑顔は人と人をつなぐものなのだと改めて感じた出来事であった。

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを一緒に考えていきませんか？

イキイキ笑顔人

自分らしく
輝いている人見つけた！



ファイルNO.11 : 山下 芳肇 さん 89歳

プロフィール：山梨県出身。大正10年、6人兄弟の次男として生まれる。生家は農家。兵役を経て、都内で始めた青果店を吉川団地に移し、65歳まで続ける。その後、78歳まで会社員として働く。夫人は6年前に他界したが、3男のお子さんたちと、孫5人、ひ孫4人に恵まれる。

老人会に入って初めて習った『踊り』

趣味を楽しむ時間を持つようになったのは、80歳を過ぎてからです。若い頃は戦争のために兵隊に行き、終戦後に墨田区で八百屋を開業して以来、家族、生活を支えるためにずっと働いてきました。趣味とか遊びなんてとんでもないと避けてきたんですよ。それが10年ほど前、退職をきっかけに知人に誘われて入った老人会(連合長寿会主催の文化部会)で、考えが180度変わってしまいました(笑)。面白そうな趣味の講座がいくつも開かれていて、しかも費用も安くして利用しやすいシステムになんですよ。それで、まず『踊り』の講座を受講してみたら、先生や受講生の皆さんが親切で、すっかり楽しくなっちゃったんです。

新しい事に挑戦する毎日が面白い

現在、老人会で受講している講座は『踊り』の他に、『カラオケ』、『フォークダンス』、『生け花』、『健康いきいき体操』の5つ。それぞれ、月2回ずつ通っています。それから、公民館で『茶道』も週1回習っています。どの講座でも、私が最年長者になるせいか大事にしてもらっていて、ありがたいですね。リズムにのって身体を動かせば気持ちがワクワクするし、皆さんに声をかけてもらえばやる気が湧く。新しいことに挑戦する毎日は、とても面白いものです。『茶道』や『踊り』で着る和服も、最初は上手く着られず、稽古の度に教えてもらいながら練習しました。亡くなった妻がこしらえてくれた和服があったのも良かった。仏壇の前には、習ってきた『生け花』をいつも飾っています。

89歳スーパーシニア！

茶道、舞踊、生け花、ボランティア…
どれも楽しく続けています。

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。老人会主催のさまざまな講座に通う山下芳幸さんは89歳。地域で活動的な毎日を過ごす山下さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。



朝の公園で始めたラジオ体操

4年ほど前にガンを患いましたが、幸い完治して健康を取り戻せました。退院後、しばらくしてから、自宅近くの<なまずの里公園>で、毎朝ラジオ体操をするようになりました。せっかく新しい公園ができたので、一人でもやってみようと思ったら、今は常時20人以上の人が集まるようになりました。雨の日以外は元且もやっています。人が集まり、朝の挨拶を交わし合うのは気持ちのいいものですね。体操の後には、北谷小学校の通学路に立って登校する子供達に声をかけています。たまたま子供の道路への飛び出しを目にしたことから、「危ないから、なんとかしたい」と学校に申し出てやり始めたボランティア活動です。夕方は南中学校周辺のパトロールにも参加しています。

ボランティア活動で心が豊かに

子どもたちを守ってあげよう、やってやろうという気持ちで始めたボランティア活動ですが、やっているうちに、逆に子どもたちから得るものがたくさんあって感謝しています。先日、新1年生の下校を見守っていたら、女の子が立ち止まり「おじさん、ちょっと座って。はい、プレゼント」と、摘んできた野の花を私の胸ポケットにさしてくれたのです。嬉しかったですね。感動して目がうるむほどでした。子どもたちとのふれあいは、私の心を豊かにしてくれています。中学生も「おじさん、ご苦労様。こんにちは」と声をかけてくる。嬉しいものです。この活動は心身の健康のためにもなって、やりがいを感じています。

男女共同参画 ワークショップ参加者募集

市では、第3次吉川市男女共同参画推進計画の策定を予定しています。
この計画策定にあたり、市民の皆さんのご意見を広く聴取するため、「吉川市男女共同参画ワークショップ」を開催します。

現行の計画内容

よしかわパートナーシップアクションⅡ

～女と男ともにいのち輝き自分らしく
生きる権利が尊重されるまちをめざして～

基本目標Ⅰ 人権・男女平等教育の推進

アクション1 男女平等の意識づくりを進める

アクション2 男女平等教育を推進する

アクション3 いのちと性を尊重する

基本目標Ⅱ 地域共同参画の推進

アクション4 政策・方針決定への参画を推進する

アクション5 男女がともに働きやすい環境をつくる

アクション6 とともに支え合う地域社会をつくる

アクション7 国際的な視野に立った男女共同参画を進める

基本目標Ⅲ 計画推進体制の整備

アクション8 市民と行政の協働体制を充実・強化する

アクション9 活動拠点を整備・充実する

報酬 無償

ワークショップスケジュール

第1回 7月6日(火) 午前10時～正午	・男女共同参画についての勉強会 ・計画等について説明
第2回 7月下旬	・計画についての研究
第3～4回 11月～4月	

応募方法 6月30日(水)までに、所定の申込書に必要事項を記入し、直接またはファクス、Eメールで市民参加推進課まで。

☎ 048(982)9685 FAX048(981)5682

yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

申込書の入手方法 市民参加推進課及びおあしす、中央公民館、総合体育館窓口、市HP
<http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>

「昔と比べると、男女共同参画社会になつてゐるんじゃない。」と話す伊田さんは、さまざまな市民団体に所属し、スポーツ指導や子供たちの交流などのボランティア活動に多忙な毎日を送つてゐる。

「活動を通じて関わるようになった僕の周りにいる若夫婦は、仕事を持つてゐる女性がほとんどだし、今は本当に、家事も子育ても夫婦で協力してやつてゐるよね。でも、離婚も多いね。母子を支える高齢の祖父母の負担も大きいだろうから、母子で自立できる支援が必要なのかな。」

男女共同参画についてだけど、僕が所属している団体では、たくさんの女性が重要な役職に就いてゐるし、女性も男性も、皆、バンバン意見を言つて、どんどん動いてゐるよ。女性だから、男性だからという垣根はなくなつてきてゐると思うな。」と話してくれた。



伊田 眞一さん
(中野在住)

男女共同参画についてインタビュー

報告します!! 「DV防止フォーラムin吉川」

平成22年3月23日、with you さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)と吉川市共催のもと、「DV防止フォーラムin吉川 ～ほっとけない!DVのこと!考えよう!私たちにできること～」が開催され、来場者60人の方がDVへの理解を深めました。

フォーラムの様子をお伝えします。

講演「DV被害者経験者が語る被害の実態」 西山さつきさん(NPO 法人レヅリエンス)

DV暴力には、『身体的暴力』のほか、『性的暴力』、「生活費を渡さない、働かせないなどの『経済的・社会的暴力』」、「馬鹿にする、脅す、許可なしに行動させない、無視するなどの『精神的暴力』」があります。

暴力が続くと、被害者は常に緊張している状況になり、気が休まる時がなく、疲弊していきます。そして、本来なら取らないような行動を取るようになってたり、自分の意見が分からなくなり、「あなたはどうしたいですか?」という質問に答えられなくなります…(一部抜粋)



参加者アンケートから

ODVは根の深い問題であることを知りました。他者に対しても敏感でありたいと思いました。

暴力からは何事も解決できないこと、手段として用いては決していけないことなど子どもの時からの教育が欠かせませんね。

ODV・虐待・行政や民間機関だけでは限界があると思います。このように、広く市民へ発信し、地域、社会、一人ひとりの意識改革が大切だと思います。

募集しています!!

●この情報紙「笑がお」作成に参加して頂ける方を募集しています。

●この情報紙「笑がお」に掲載する「笑顔」の写真も募集中です。

いずれも、下記あてにお気軽にお問い合わせください。

発行

笑がおの会・吉川市

※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

問合せ

吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川 2-1-1

☎048(982)9685 FAX048(981)5682 ✉yoshikawa-mail@city.yoshikawa.saitama.jp

※ 題字については、檜田民子さんのご協力をいただきました。